

夢は加

開催期間中、ネーミング投票が行われ、試作車は「Neicle」(ネイクル)に決定



試作車の説明をする松尾様



道内8社の知恵と技術を結集、寒冷地仕様EV試作車第1号を完成

独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部
経営支援部長 松尾一久 様

2年前から北海道内の製造業が集まり、北海道のためのEV車を開発してきました。これは試作車第1号(表紙)です。デザイン、車体設計、製造まで、すべて道内企業が行う、ものづくりへの新たな挑戦です。今後公道走行を行い、ガソリンエンジンで駆動する軽自動車に適さない、超小型EVが適するニッチな市場での実用化を図っていきたい。道内ものづくり産業の発展を目指していきます。



速する

SAPPORO MOTOR SHOW 2016

2016年1月22～24日まで、札幌ドームで「札幌モーターショー2016」が開催され、3日間で約10万6,000人が来場しました。二輪車も含め合計222台の車が、道民の夢を形にし、未来に向けて発進しました。

室蘭工業大学ものづくり基盤センターも自慢のエコカーを出展



イメージは1960～70年代のアメ車です

旭川実業高等学校自動車科の生徒たちが2年がかりで製作したEV車。先輩も応援し、毎日夜遅くまで頑張りました。来場した家族連れを囲んで、川上先生（右端）と齋藤先生（左端）も思わず笑顔に。

